

科目名	<b>実践英語表現論 II</b>	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			国際学科	□ 必修	■ 選択
英文表記	<b>Practical English Expression II</b>	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
			開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	こもり まひと	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	小森 真人	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	将来ネイティブレベルの英語力を身につけることを目標に英語の徹底的な訓練を行うことで、海外留学で通用するようなハイレベルで実践的な英語表現能力を錬成する。				
到達目標	CEFER B2レベル（英検準1級、IELTS 5.5）の試験に受講後合格する。				
授業概要	前期に引き続き、英検準1級やIELTSの問題を使用して、発展的な英語力を身につける。また、オンライン教材を取り入れた個別最適化学習を取り入れる。後期は、英検準1級合格に不可欠な英作文およびリスニングを中心に学習するが、面接対策なども随時行っていく。				
授業計画					
第1回	ガイダンス：勉強の仕方、チェックテスト				
第2回	Writing：テーマ（教育）				
第3回	Writing：テーマ（テクノロジー）				
第4回	Writing：テーマ（経済）				
第5回	Writing：テーマ（環境）				
第6回	Writing：テーマ（平和）				
第7回	Listening：会話				
第8回	Listening：講義				
第9回	Listening：日常生活				
第10回	Listening：総合演習				
第11回	Reading：単語・熟語問題				
第12回	Reading：語句穴埋め長文問題				
第13回	Reading：長文問題				
第14回	Speaking：絵の描写				
第15回	Speaking：議論				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	毎回授業の冒頭で単語テストを実施する。 オンライン学習の課題を行う。				
履修条件 受講のルール	<p>・本科目は将来留学を目指すなど<b>上級者向けの英語専門科目</b>である。すでに英検2級以上やTOEIC600点相当以上の英語力を持っており、前期の「実践英語表現論I」を履修していることを推奨する。初級者向けの英語専門科目には、「英検I・II」、「TOEIC I・II」などがあり、英語力に自信がない人はまずそちらの科目を先に履修することを推奨する。</p> <p>・英作文やオンライン教材の課題を宿題として取り組む。</p> <p><b>【受講のルール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>欠席した学生、科目のウェブページから適切な書類をダウンロードして下さい。</li> <li>15分以降遅れた学生：その遅刻が記録され、期末に遅刻が合計される。もし90分の合計にな</li> </ul>				

	れば、1回欠席として数える。 授業の最後の30分での到着は欠席として数える。
テキスト	オンライン教材「Really English」 『英検準1級でる順パス単 5訂版』旺文社
参考文献・資料	
成績評価の方法	【宿題30%、語彙テスト30%、授業の試験40%】 上記評価項目を基にして総合的に判断する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができない。</li> <li>出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とする。</li> </ul> 授業中に無許可で退出した場合は欠席とする。
オフィスアワー	木曜日午後 それ以外の時間は個別に事前に相談すること。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	英語力を向上させるためには明確な目標設定が必要である。本科目は、英検準1級やIELTS5.5など留学に最低限必要な英語力を身につけるための演習を行う。そのためには、授業外でもたくさんの英語に触れる必要がある。多くの宿題に取り組むことによって、英語の学習を習慣づける。